

令和3年度 妙高市地域運動部活動推進事業 成果報告書

1 関係団体と円滑に地域移行を推進する体制づくり

令和2年度中に地域移行の核となる地域のスポーツ団体に、早い段階で国、県、市の方針を伝え、協力を呼び掛ける会合を開いた。令和3年度には、総合型地域スポーツクラブを中心にスポーツ5団体と3回に渡って説明会や意見交換会を実施することで協力体制を作った。

(令和2年10月)

市内最大規模の総合型スポーツクラブと国の方針を共有。

(令和2年12月)

意見交換会開催(総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会、コミュニティースポーツ協議会、スポーツクラブ協議会、ジュニアスキー育成会が参加) 国の部活動改革の概要説明。3年度の市の計画説明。

(令和3年3月)

総合型地域スポーツクラブ連絡協議会開催(総合型地域スポーツクラブ) 3年度のモデル事業採択の報告と、指導者確保、事務局員配置など具体的な連携内容を確認。

(令和3年6月)

地域運動部活動実施に伴う意見交換会を開催。地域スポーツ5団体へ3年度の市の正式な実施計画を説明。意見交換を行う。

(令和3年7月)

総合型地域スポーツクラブ連絡協議会開催。再々委託するスポーツクラブと地域活動実施の具体的な業務などについて打合せを実施。

(令和3年12月)

地域運動部活動実施に伴う意見交換会開催。スポーツ5団体(総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会、コミュニティースポーツ協議会、スポーツクラブ協議会、ジュニアスキー育成会)と、市内3中学校の校長を集め、今年度の取組の成果と課題を共有。来年度の計画を検討した。

2 実践校や関係団体の協働を効果的に促す工夫

実践校の管理職、担当部活動顧問への聴き取りを丁寧に行った。現在の部活動の実態、生徒の様子、顧問の思いなどを聞く中で、小規模校の合同部活動を進めた。また、総合型地域スポーツクラブへ訪問し、将来の妙高市のスポーツ環境について考えを聞きながら、今年度の取組が将来に結び付くという思いをもってもらうようにした。

(令和3年4月)

校長、部活動顧問への説明と意見交換会を実施。

(令和3年6月)

市内中学校長会において説明と意見交換会を実施。

総合型地域スポーツクラブと取組実施前の打ち合わせを実施。

3 指導者や生徒・保護者への課題の克服

指導者への詳しい説明と、指導への思いを聴き取った。また、練習を視察し、直接生徒や指導者の声を聞いた。保護者への詳しい説明と意見交換を中学校単位で実施し、部活動改革への理解を進めた。また、保護者個別の相談にも応じた。

保護者説明会の中で、今年度は保護者の費用負担はないが、将来、休日の部活動がなくなり、地域での活動となった場合、受益者負担となることを伝えた。

(令和3年6月)

保護者説明会

指導者説明会

(令和3年7月、9月)

野球、女子バレーボール視察

(令和3年10月)

男子ソフトテニス視察

4 地域内のすべての学校に取組を普及する工夫

(1) 学校への説明

部活動改革について国、県、市の方針を理解してもらうよう、市内の中学校を訪問し、管理職と部活動担当教員に説明を行った。今後、休日部活動の段階的な地域移行を行う具体的な部活動の種目や希望する地域指導者像を聴き取った。

(2) 中学校区のスポーツ団体への協力要請

中学校の希望を受け、地域と連携を図りたい種目について指導者の確保や、スポーツクラブの講座の活用など、地域のスポーツ団体を訪問し連携・協力を呼び掛けた。今年度は将来的な総合型地域スポーツクラブとの連携を見据え、生徒の保険加入手続きや、指導者の報酬支払い手続き事務を総合型地域スポーツクラブに再々委託した。地域連携を市内全体の取組にするため、来年度は市内3つの総合型地域スポーツクラブに事務を委託する。

(3) 家庭への啓発

市全域の取組とするため、休日部活動の地域移行に関する市のリーフレットを作成し、全3つの中学校から全家庭へ配付して家庭への理解を進めた。

5 実践研究におけるアンケート結果

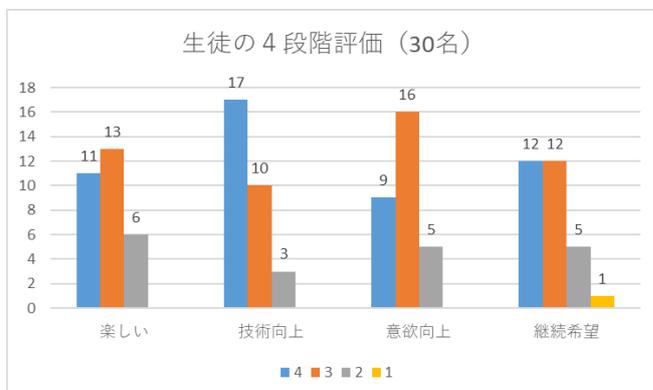
(1) 地域運動部活動実施についてのアンケート

○生徒（30人）

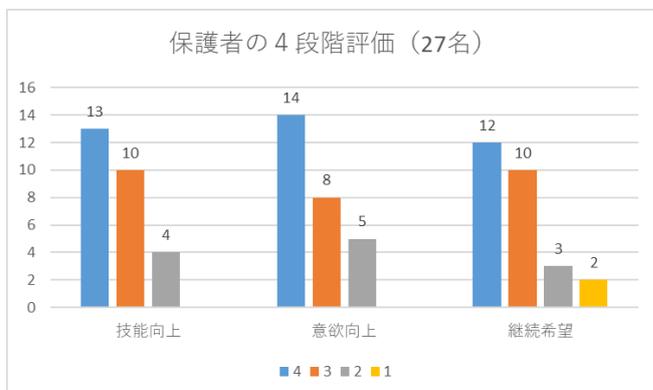
	4 とても当てはまる	3 当てはまる	2 あまり当てはまらない	1 当てはまらない
楽しい	11	13	6	0
技術が向上	17	10	3	0
意欲が向上	9	16	5	1
継続を希望	12	12	5	1

○保護者（27人）

	4 とても当てはまる	3 当てはまる	2 あまり当てはまらない	1 当てはまらない
技術が向上	13	10	4	0
意欲が向上	14	8	5	0
継続を希望	12	10	3	2



地域運動部活動を実施し、「楽しい」「技術向上」「意欲向上」「今後も継続を希望」の各項目で、生徒の約75%、保護者の約85%が4段階評価で4または3の高評価となった。



○外部指導者（2名）

	4 とても当てはまる	3 当てはまる	2 あまり当てはまらない	1 当てはまらない
技術が向上	1	1	0	0
意欲が向上	1	1	0	0
継続を希望	2	0	0	0

○部活動顧問（3名）

	4 とても当てはまる	3 当てはまる	2 あまり当てはまらない	1 当てはまらない
技術が向上	2	0	1	0
意欲が向上	1	1	1	0
継続を希望	0	2	1	0

（2）休日部活動地域移行後、「兼職兼業届を提出して指導したいか」のアンケート

○市内全中学校の主幹教諭、教諭対象（52名 回収率93%）

（質問）休日の部活動が地域移行された場合、兼職兼業申請を行い、地域指導者として休日にスポーツや芸術指導をしたいか、したくないか。

項目	人数（割合）
指導したい	13名（25%）
指導したくない	39名（75%）

6 成果

- （1）バレーボール、野球の合同部活動を実施することで、少人数の学校の生徒にも試合形式の練習など、競技の楽しさを味わわせることができた。
- （2）体操競技など技術指導が難しい種目について専門的な指導を受けさせることができたとともに、顧問教員の負担を軽減した。
- （3）総合型地域スポーツクラブに事業を委託することで、休日部活動の地域移行について体制づくりを始めることができた。